

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築材料学		担当講師	赤塚博
時期	環境デザイン科	2年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義	
授業内容	建築に用いられる各種材料の性質と適用箇所についての知識の習得			
到達目標	建築は総産業といわれるほどいろんな「物」が使われている幅の広い学問である。本講義では多くの材料を知り適材適所に使用するための知識習得を目指す。			
準備学習等	特になし			
教科書	図説 やさしい建築環境(学芸出版社)			
成績評価方法	ペーパーテスト(二級建築士程度)			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月14日	建築材料の概要	歴史、分類	
2	4月21日	建築材料の基礎	木質系材	
3	4月28日		セメント、コンクリート	
4	5月12日		ガラス、アスファルト	
5	5月19日	構造材 概要	木材、鉄筋コンクリート	
6	5月26日		鉄骨材、その他	
7	6月2日	仕上げ用材 概要	屋根材、左官、壁材	
8	6月9日		天井材、畳、金属	
9	6月16日		リノリウム、プラスチック	
10	6月23日		開口部材	
11	6月30日		接着剤、塗料	
12	7月7日	耐久性材	耐久年数、石材、粘土	
13	7月14日		断熱	
14	7月21日	防火	防火、耐火性材	
15	7月28日	テスト		

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築施工 I		担当講師	赤塚博
時期	環境デザイン科	2年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義	
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事をする時は、請負契約という民法があり、契約の書類等も決められている。また発注、入札や建設業法などについて学ぶ。 ・工事の進め方として、施工計画書の作り方を学ぶ。 ・工事として仮設工事、山留、基礎、鉄筋コンクリート、鉄骨、木工事、防水、左官、吹付、塗装、内装、各工事の工法を学ぶ。 ・工事の安全対策や、品質、見積り方法などの実例をあげて、実際にやってみる。 			
到達目標	目的にあった建物を、最良のものに、安念に安く造るには、新しい工法と伝統的工法の組み合わせにより、各種の法律に合わせてつくる必要があると理解させる。			
準備学習等	特になし			
教科書	2級建築施工管理技士学科テキスト 令和4年度 & 学科問題解説集(建築資料研究社)			
成績評価方法	テスト			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月14日	施工(躯体)	仮設工事	
2	4月21日		建築材料	
3	4月28日		コンクリート工事	
4	5月12日		鉄骨	
5	5月19日		鉄筋	
6	5月26日		〃	
7	6月2日	施工(仕上)	防水工事	
8	6月9日		木工事	
9	6月16日		塗装	
10	6月23日		建具、ガラス	
11	6月30日		内装工事	
12	7月7日	設備	電気設備	
13	7月14日		機械設備	
14	7月21日		〃	
15	7月28日	テスト		

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築構造力学 I		担当講師	赤塚博
時期	環境デザイン科	2年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義	
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな建物が構造力学上良質であるか ・構造力学とはどんな学問なのか ・力の釣り合いとはどういうことか ・丈夫な建物を造るには 			
到達目標	建築構造力学の理解			
準備学習等	特になし			
教科書	改訂版 図説 やさしい構造力学(学芸出版社)			
成績評価方法	テスト			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月15日	構造力学とは	どんな建物が良いか	
2	4月22日		丈夫な建物をつくる	
3	5月6日		構造力学の学び方	
4	5月13日		力について 基礎知識	
5	5月20日		力とは、なんだろうか	
6	5月27日		合力の求め方	
7	6月3日		分力の求め方	
8	6月10日		力はどんな時つりあうか	
9	6月17日		構造物と構造	
10	6月24日	構造物に荷重が作用すると	建物を力学的に見直す	
11	7月1日		〃	
12	7月8日		建物にどんな荷重が作用するか	
13	7月15日		支点にはどんな反力が生じるか	
14	7月22日		部材に作用する力	
15	7月29日	テスト		

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築法規 I		担当講師	赤塚博
時期	環境デザイン科	1年 前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義	
授業内容	建物は、面積、高さ、形状に関係なく建てられない。生活の環境を守るため、用途地域や安全のため道路と敷地の関係、地震、台風、火事から人命財産を守るため、壊れず燃えない建物にする必要がある。そのための法律である「建築基準法」を理解するため、教科書学習を行う。			
到達目標	建築基準法を理解し、建築基準法に適合する建物を設計できるようにする			
準備学習等	特になし			
教科書	建築基準法関係法令集 2022年版 建築法規用教材2022			
成績評価方法	テスト			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月15日	民法	建築と民法	
2	4月22日		建築法規の歴史	
3	5月6日	総則	用語の定義	
4	5月13日		面積高さ等の算定方法	
5	5月20日		建築主事	
6	5月27日		確認申請	
7	6月3日	敷地の安全	建築物の敷地	
8	6月10日		屋根、壁	
9	6月17日		採光、換気	
10	6月24日		便所、電気	
11	7月1日		構造及び建築設備	
12	7月8日	都市計画区域における	道路の定義、用途地域	
13	7月15日		防火地域	
14	7月22日	建物の敷地	建ぺい率、容積率	
15	7月29日	テスト		

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築CAD I		担当講師	伊藤 真一
時期	環境デザイン科	1年 前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義/実習/演習	
授業内容	CADソフトVectorworksを用いて建築設計の基礎および作図法を学ぶ。			
到達目標	木造2階建住宅の一般図を作成しながら木構造を学び、実際に住宅が設計出来るスキルを身に付ける。			
準備学習等	テキストの設計図例をよく読み、そこで表現すべき情報を事前に探る。			
教科書	Vectorworks2009で学ぶ建築製図の基本(エクснаレッジ) 10日でマスター! VECTORWORKS[Ver.2017/2018対応](エクснаレッジ)			
成績評価方法	出席日数25%、授業態度25%、建築学習への意欲25%、成果物評価25%、			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月14日	初めに	CADの現状	
2	4月21日	VectorWorksの概要	VectorWorksのあらまし	
3	4月28日	VectorWorksの機能	直線・曲線・四角形・円などの作図	
4	5月12日		ファイルの保存、テンプレート保存など	
5	5月19日		レイヤー・クラスの概要	
6	5月26日	一般図(平面図)を描く	平面図を描く(通り芯、寸法)	
7	6月2日		平面図を描く(柱・壁・開口部)	
8	6月9日		平面図を描く(姿図、ハッチング)	
9	6月16日		平面図を描く(家具、設備機器)	
10	6月23日		平面図を描く(屋根伏図)	
11	6月30日	屋根の構造、掛け方、種類	屋根の構造	
12	7月7日		屋根の構造	
13	7月14日		屋根の掛け方	
14	7月21日	一般図(断面図)を描く	断面図を描く	
15	7月28日		断面図を描く	

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築環境工学		担当講師	伊藤 真一
時期	環境デザイン科	2年 前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義/実習/演習	
授業内容	生活環境と音、熱、光、空気、水等の関係性の理解と、それに関する知識を修得する			
到達目標	全世界的に地球温暖化が懸念される昨今、建築物にもより多くの省エネやCO2排出の削減が要求されている。それは国の政策上でも具体的になって来ている。こういう時代にあつて、建築のみならず、我々の生活環境に大きく影響を与える音、熱、光、空気、水等について幅広く考察し、技術者として必要な環境の知識を身につけて社会に貢献できる人材を育成しようというプログラムである。			
準備学習等	テキストの予習を前提として、その週のテーマを事前に把握しておく。地球環境に関するニュースに関心を持ち、現在の置かれている状況を常に理解しておく。			
教科書	図説 やさしい建築環境(学芸出版社) 改訂版 初めての建築環境(学芸出版社)			
成績評価方法	出席日数25%、授業態度25%、建築学習への意欲25%、成果物評価25%、			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月14日	建築環境工学のあらまし	現在の建築環境	
2	4月21日	建築環境の概要	地球環境と建築環境工学	
3	4月28日	気候	外部気候	
4	5月12日		室内気候	
5	5月19日	都市環境	都市の熱・空気環境	
6	5月26日		都市の光・音・水環境	
7	6月2日	換気と通風	室内環境と換気・通風	
8	6月9日	伝熱と結露	伝熱・結露	
9	6月16日	日照と日射	日照と住環境	
10	6月23日		日射	
11	6月30日	採光・照明と色彩	光と照明計画	
12	7月7日		色彩	
13	7月14日	音環境	音の性質・遮音と吸音	
14	7月21日		音の性質・遮音と吸音	
15	7月28日		騒音と振動・室内音響	

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	商業施設概論 I		担当講師	岡田正昭
時期	環境デザイン科	1年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義・演習	
授業内容	商業施設の現状を学び、商業施設のプランニング手法を会得			
到達目標	さまざまな商業施設事例を把握し、商業施設の社会的意義を認識する			
準備学習等	市街地周辺の商業施設の実態調査、専門月刊誌や経済新聞などによる情報収集			
教科書	月刊「商店建築」商店建築社 「日経MJ」日本経済新聞社			
成績評価方法	演習・課題にて6,授業態度で4の配分で評価			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月13日	授業の目的	商業施設概論の進め方と目的を説明	
2	4月20日	演習1	記憶にある商業施設をスケッチで表現	
3	4月27日	演習2	記憶にある商業施設をスケッチで表現	
4	5月11日	商業施設の現状1	商業施設とは何か	
5	5月18日	商業施設の現状2	商業施設とは何か	
6	5月25日	評価	演習1,2への評価	
7	6月1日	商業施設の傾向	教材により事例を学ぶ	
8	6月8日	商業施設の傾向	教材により事例を学ぶ	
9	6月15日	商業施設の傾向	教材により事例を学ぶ	
10	6月22日	プランニング演習	スケッチによる店舗プラン	
11	6月29日	プランニング演習	スケッチによる店舗プラン	
12	7月6日	プランニング演習	スケッチによる店舗プラン	
13	7月13日	プランニング演習	スケッチによる店舗プラン	
14	7月20日	プランニング評価	スケッチプランへの評価	
15	7月27日	まとめ	概論 I のまとめと授業についての評価	

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	商業施設計画 I		担当講師	岡田正昭
時期	環境デザイン科	2年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義・演習	
授業内容	商業施設の計画			
到達目標	これからの新しい商業施設(店舗)を計画し表現する			
準備学習等	教科書等により各商業施設のコンセプトを学ぶ			
教科書	月刊「商店建築」商店建築社 「日経MJ」日本経済新聞社			
成績評価方法	演習・課題にて6,授業態度で4の配分で評価			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月13日	授業の目的	商業施設計画の進め方と目的を説明	
2	4月20日	店づくりコンセプトの作り方-1	事例コンセプトの検証	
3	4月27日	店づくりコンセプトの作り方-2	同上	
4	5月11日	コンセプト作り演習-1	店づくりとコンセプトを並行して演習	
5	5月18日	コンセプト作り演習-2	同上	
6	5月25日	評価	コンセプトと店づくりへの評価と指導	
7	6月1日	同上	同上	
8	6月8日	プランニング手法	CADによるプランニング開始	
9	6月15日	プランニング演習	プランニング指導	
10	6月22日	プランニング演習	同上	
11	6月29日	プランニング演習	同上	
12	7月6日	プランニング演習	同上	
13	7月13日	プランニング演習	同上	
14	7月20日	プランニング評価	プランニング評価及び指導	
15	7月27日	まとめ	計画 I のまとめと授業についての評価	

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	設計演習Ⅱ		担当講師	大友庸夫
時期	環境デザイン科	1年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義、演習、実習	
授業内容	木造住宅の作図実習を通して、木造建築物の基本構成と各種図面の役割、関連性を学習する			
到達目標	①製図の規則と各種図面の役割・作図手順を理解し、情報を正確に伝える為の技術を習得する ②木構造の基本を理解し、自ら設計出来る知識と技術を習得する			
準備学習等	理解不足による遅延が生じない様、各自毎回復習させ、理解の徹底を図る			
教科書	学芸出版社「新しい建築の製図」 丸善 日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成 第4版」			
成績評価方法	課題状況(理解度、正確性、内容) 平常点(授業態度、意欲)			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月12日	ガイダンス	建築・設計とは	
2	4月19日	基礎演習1	建築物と図面	
3	4月26日	基礎演習2	簡単な図面1	
4	5月17日	基礎演習3	簡単な図面2	
5	5月24日	基礎演習4	簡単な図面3	
6	5月31日	作図演習1	木造 平面図1	
7	6月7日	作図演習2	” ” 2	
8	6月14日	作図演習3	” ” 3	
9	6月21日	作図演習4	木造 断面図1	
10	6月28日	作図演習5	” ” 2	
11	7月5日	作図演習6	木造 立面図1	
12	7月12日	作図演習7	” ” 2	
13	7月19日	作図演習8	木造 矩計図1	
14	7月26日	作図演習9	” 2	
15	8月2日	作図演習10	” 3	

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築士演習 I		担当講師	大友庸夫
時期	環境デザイン科	2年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義、演習、実習	
授業内容	年間を通じて「一年次の設計課題(小規模住宅)」の実施設計図作成を学習する、総合設計能力の向上と実務体験を図る(前期分)			
到達目標	①建築(住宅)の総合設計能力の向上を図る ②各種図面等の作成を通して、実務能力の育成を図り、社会へのステップアップを図る			
準備学習等	実際の建物(自宅等)の観察を通して、実物と図面との関係性や図面相互の関係性を、興味を持って考える			
教科書	市ヶ谷出版社「建築計画・設計シリーズ4 新・住宅1」 学芸出版社「新しい建築の製図」 丸善 日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成 第4版」			
成績評価方法	課題状況(内容等による総合評価) 平常点(授業態度、意欲)			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月12日	実務演習 (スイートホーム1)	法チェック① :採光、換気	
2	4月19日	実務演習 (スイートホーム2)	法チェック② :採光、換気、筋違い	
3	4月26日	実務演習 (スイートホーム3)	法チェック③ :筋違い	
4	5月17日	実務演習 (スイートホーム4)	木造軸組構造について 2階小屋伏図①	
5	5月24日	実務演習 (スイートホーム5)	2階小屋伏図②	
6	5月31日	実務演習 (スイートホーム6)	2階床伏図・1階小屋伏図①	
7	6月7日	実務演習 (スイートホーム7)	2階床伏図・2階小屋伏図②	
8	6月14日	実務演習 (スイートホーム8)	CAD図面化①	
9	6月21日	実務演習 (スイートホーム9)	CAD図面化②	
10	6月28日	実務演習 (スイートホーム10)	1階床伏図①	
11	7月5日	実務演習 (スイートホーム11)	1階床伏図②	
12	7月12日	実務演習 (スイートホーム12)	基礎伏図①	
13	7月19日	実務演習 (スイートホーム13)	基礎伏図②	
14	7月26日	実務演習 (スイートホーム14)	表紙・図面リスト	
15	8月2日	実務演習 (スイートホーム15)	前期分のまとめ 「第1回製本」提出	

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	設計演習 I		担当講師	大友庸夫
時期	環境デザイン科	1年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義、演習、実習	
授業内容	実際の設計課題を通して、設計方法と表現方法(図面と模型の作製)を学習する			
到達目標	①「設計課題A(5.4m立方の自己空間の設計)」を通して、設計の基礎とプロセスを学ぶ ②「設計課題B(木造小住宅の設計)」を通して、住宅の役割と設計上のポイントを学ぶ			
準備学習等	常日頃から、実際の建物の見学や、テレビの視聴・雑誌の閲覧を通して、建築の思考性や空間性を学習しておくこと			
教科書	市ヶ谷出版社「建築計画・設計シリーズ4 新・住宅1」 エクスナレッジ「住宅インテリア究極ガイド 最新盤」 学芸出版社「新しい建築の製図」 丸善 日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集成 第4版」			
成績評価方法	課題状況(内容等による総合評価) 平常点(授業態度、意欲)			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月15日	設計課題A 1	課題A 課題説明 敷地調査	
2	4月22日	設計課題A 2	設計条件の整理、コンセプトの設定、イメージスケッチ	
3	5月6日	設計課題A 3	エスキス1	
4	5月13日	設計課題A 4	エスキス2	
5	5月20日	設計課題A 5	エスキス完了	
6	5月27日	設計課題A 6	作図・制作1	
7	6月3日	設計課題A 7	作図・制作2	
8	6月10日	設計課題A 8	作図・制作3	
9	6月17日	設計課題A 9	作図・制作4	
10	6月24日	設計課題A 10	課題A 発表会 課題B 課題説明	
11	7月1日	設計課題B 1	敷地調査、設計条件の整理、コンセプトの設定、イメージスケッチ	
12	7月8日	設計課題B 2	エスキス1	
13	7月15日	設計課題B 3	エスキス2	
14	7月22日	設計課題B 4	エスキス完了	
15	7月29日	設計課題B 5	作図・制作1 *以降、夏期休業期間中の宿題	

令和4年度(2022) 山形デザイン専門学校 授業計画

科目	建築設計 I		担当講師	大友庸夫
時期	環境デザイン科	2年前期	実務経験の有無	有
単位(時間)	2.5単位 (30時間)	授業形態	講義、実習	
授業内容	年間を通じて「卒業制作」の自由課題を制作し、企画からプレゼンまでの一連の流れの体験を通して、自ら社会へ積極的に提案する姿勢を身につける(前期分)			
到達目標	①社会の様々な現象に目を向け、その中に潜む物事の本質を見極める視点を養う ②物事を解決する為に必要な、論理的思考と建築的総合力を養う			
準備学習等	ニュースや新聞・雑誌の記事を通して、日常生活の様々な社会現象に関心を持ち、「今、何が建築に求められているのか」を考える			
教科書	エクスナレッジ「おかしな建築の歴史」 丸善 日本建築学会編「コンパクト建築設計資料集 第4版」			
成績評価方法	課題状況(内容等による総合評価) 平常点(授業態度、意欲)			
回	授業日	授業項目	学習内容	実施状況
1	4月15日	卒業設計R 1	テーマ1 (テーマと敷地の検討1)	
2	4月22日	卒業設計R 2	テーマ2 (テーマと敷地の検討2)	
3	5月6日	卒業設計R 3	テーマ3(情報収集)	
4	5月13日	卒業設計R 4	テーマ4(コンセプトチャルイメージの作成)	
5	5月20日	卒業設計R 5	テーマ5(テーマ発表) ※タイトル、サブタイトル、コンセプトチャルイメージ	
6	5月27日	卒業設計R 6	計画条件の設定1 (条件の抽出と検討)	
7	6月3日	卒業設計R 7	計画条件の設定2 (機能図の作成)	
8	6月10日	卒業設計R 8	計画条件の設定3 (構成図の作成)	
9	6月17日	卒業設計R 9	計画条件の設定4 (「基本構想図」の作成)	
10	6月24日	卒業設計R 10	計画条件の設定完了 (「基本構想図」の発表、提出)	
11	7月1日	卒業設計R 11	基本計画1 (空間構成の検討①)	
12	7月8日	卒業設計R 12	基本計画2 (空間構成の検討②)	
13	7月15日	卒業設計R 13	基本計画3 (ゾーニングの検討)	
14	7月22日	卒業設計R 14	基本計画4 (構造形式の検討)	
15	7月29日	卒業設計R 15	基本計画5 (計画案作成①)	